

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	純粋型眼窩上壁骨折の特徴
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 (職名) 教授(特任)(氏名) 高橋靖弘
研究の対象となる方	2016年1月1日から2023年4月30日までに当科を受診した眼窩上壁骨折の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2024年6月30日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>眼窩上壁骨折は目の周りの骨である眼窩壁のうち、眼窩上壁が骨折するまれな疾患です。一般的に眼窩上壁骨折は高エネルギー外傷(交通事故など)が原因で、頭蓋骨骨折や顔面多発骨折を伴います。従って、眼部や神経に重大な傷害を引き起こすことが多いです。一方、頭蓋骨骨折や顔面多発骨折を伴わない純粋型眼窩上壁骨折に関してはその特徴がわかりません。本研究は純粋型眼窩上壁骨折の特徴を調べることを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>診療情報の収集目的で、カルテを利用します。またCT画像から、骨折のパターンを調べます。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)およびCT画像から、年齢、性別、左右、受傷原因、眼窩上神経麻痺の有無、眼部傷害の有無、髄液漏の有無、脳ヘルニアの有無、術前後両眼単一視野、手術を受けたか否か、骨折パターンに関する情報を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年2月29日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：(職名) 教授 (特任) (氏名) 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12314)